

授業科目名	国際学を学ぶ III		
科目番号	1F05014	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	大友 貴史		
授業概要	グローバル化が進展し、環境問題や人口問題が深刻さを増すなか、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境学に関わる基礎知識を発展させるため、この授業ではPBL(Project-Based Learning)あるいはグループワーク形式を取り、グループごとに設定したリサーチトピックについて、課題の設定、課題の解決に向けた文献講読や資料収集、調査、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行い、理解を深める。		
備考	*国際総合学類生の受講は認めない。(国際総合学類開設)【受入上限数 60 名】		
授業形態	講義及び演習		
科目群	F		
水準・区分			
教育目的	国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境学に関わる基礎知識を、具体的な国際的課題の解決に応用することによって、より深い理解と社会において必要な実践的思考を身につける。		
到達目標	1. 国際社会における諸問題に対する意識を深めることができる。 2. 国際社会の問題解決のために、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境学の分野において、どのような取り組みが実施されているかを理解することができる。 3. 今後のより良い国際社会の構築に向けて、何が必要とされているかを自分で考える能力を養うことができる。		
キーワード	国際学		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 15 日 大友貴史 人文社会系】 [授業の概要説明とグループ分け] 履修者を(カード等で)4 分野に分けます。各自自分に割り当てられた分野の授業をもとに、その分野に関するグループ発表をします。各自 1 回のグループ発表を行います。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日 大友貴史 人文社会系】 [国際安全保障環境の変化と日本の対応 (国際政治・国際法分野)] 日本を取り巻く国際安全保障環境は近年急激に変化しているが、国際関係理論を通してその原因と影響を理解する。そして、日本にはどのような政策的選択肢があるのかを考える。 グループ発表のテーマ例:北朝鮮核開発問題、中国の台頭、米国内の変化などが日本に与えた影響とそれらに対する日本の対応など (政策提言)</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 黒川義教 人文社会系】 [国際貿易と賃金格差 (経済学分野)] この第 3 回目の授業では、「国際貿易と賃金格差」特に「国際貿易は近年多くの国で観察された熟練・非熟練労働者の賃金格差拡大に貢献したのか?」というテーマで講義を行う。第 8 回目の授業では、いくつかのグループに実際の事例について発表してもらう。 グループ発表のテーマ候補:先進国における国際貿易と賃金格差、途上国における国際貿易と賃金格差</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日 井出里咲子 人文社会系】 [言語文化の多様性と国際社会 (文化・社会開発分野)] グローバル化に伴う国内外の言語文化の変容について、個人のアイデンティティとコミュニティ形成の両面から論じる。複数言語を使い分ける中で人はいかなるアイデンティティをもつのか、母語をもたないということとはどういうことかなどについて論じつつ、世界の少数言語や言語消滅の意味についても考える。 グループ発表のテーマ例:少数言語、危機言語の現状、地域言語復権・復興の意義、早期英語教育の光と影、英語が世界共通語となることの功罪等。 (参考図書:川上郁雄 (2010) 『私も「移動するこども」だった』くろしお出版)</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 20 日 白川直樹 システム情報系】 [水資源開発に伴う環境問題 (情報・環境分野)] 水は地球上どこでも必要不可欠な資源でありながら、その開発が引き起こす環境問題のあらわれ方は地域特性を反映して多様である。どのような場所ではどのような問題が起きており、どのように人間は対処してきたのか、いくつかの軸に基づいて考察する。 グループ発表のテーマ例:都市用水の環境影響、水力発電と環境用水、食料生産と水環境</p>		

	<p>第6回【5月27日 大友貴史 人文社会系】 [グループ発表の打合せ]</p> <hr/> <p>第7回【6月3日 大友貴史 人文社会系】 [グループ発表(国際政治・国際法分野)]</p> <hr/> <p>第8回【6月10日 黒川義教 人文社会系】 [グループ発表(経済学分野)]</p> <hr/> <p>第9回【6月17日 井出里咲子 人文社会系】 [グループ発表(文化・社会開発分野)]</p> <hr/> <p>第10回【6月24日 白川直樹 システム情報系】 [グループ発表(情報・環境分野)]</p> <hr/> <p>第11回【7月1日 大友貴史人文社会系】 期末試験</p>
履修条件	<p>なし。 *国際総合学類生の受講は認めない。</p>
成績評価方法	<p>評価方法(評価割合)及び評価基準 A: グループワーク(40%)・・・グループ内での個人貢献度を考慮。 B: 学期末試験(60%)・・・持込不可。</p>
授業外における学習方法	<p>必要に応じて指示する。</p>
教材・参考文献	<p>各講義担当者が授業中に個別に指示する。</p>
オフィスアワー・連絡先	<p>Emailにて連絡 大友貴史 ohtomo.takafumi.gf@u.tsukuba.ac.jp</p>
履修者へのメッセージ	<p>さまざまな学問的アプローチに対する知的好奇心をもって受講してください。</p>

授業科目名	心のしくみを解き明かすニューロサイエンス		
科目番号	1F07011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	高橋 阿貴, 山田 一夫		
授業概要	21 世紀の科学の最大のテーマである「こころ」の理解を目指すニューロサイエンス (神経科学) は、心理学、行動学、分子生物学、細胞生物学、解剖学、生理学、薬理学、臨床医学、工学、社会科学等を含む学際的な学問領域として現在も発展し続けている。本講義では、ニューロサイエンスにおける最新の研究知見を紹介し、今まさに明らかにされつつある「こころ」のメカニズムについて理解を深める。なお一部の講義は、ニューロサイエンスでの共通言語である英語で行う。		
備考	(心理開設) 【受入上限数 200 名】		
授業形態	講義		
科目群	科目群 F		
水準・区分			
教育目的	21 世紀の科学の最大のテーマである「こころ」の理解を目指すニューロサイエンス (神経科学) は、心理学、行動学、分子生物学、細胞生物学、解剖学、生理学、薬理学、臨床医学、工学、社会科学等を含む学際的な学問領域として現在も発展し続けている。本講義では、ニューロサイエンスにおける最新の研究知見を紹介し、今まさに明らかにされつつある「こころ」のメカニズムについて理解を深める。なお一部の講義は、ニューロサイエンスでの共通言語である英語で行う。		
到達目標	ニューロサイエンスの基礎的な知識だけでなく、より実践的・発展的な研究知見に触れることで、社会へ還元するための可能性等について考えることができ、さらには卒後の自身キャリア形成にも繋げられる。		
キーワード	心理学, 基礎医学, 障害科学, 人間工学, 記憶, 社会性, 攻撃行動, 味覚・嗅覚, 睡眠, ドーパミン神経, 脳損傷		
各回授業計画	<p>所属の異なる複数の教員によるオムニバス形式で、筑波大学および近隣研究所でのニューロサイエンス研究の最新の知見について解説する。</p> <p>第 1 回【4 月 15 日 高橋阿貴 人間系】 [イントロダクション・怒りのニューロサイエンス] 人によって怒りやすさやイライラしやすさは異なります。怒って殴りかかりたいと思っても、多く人は我慢することができます。一方で、抑えがきかずに暴力をふるってしまう人もいます。このような違いはどうして生ずるのでしょうか? 攻撃行動を制御する神経メカニズムを明らかにするための最新の神経科学的手法を用いた試みを紹介します。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日 一谷幸男 人間系】 [精神疾患と動物モデル] 統合失調症やうつ病のような心の病気 (精神疾患) への対応は現代社会が抱える課題ですが、発症機構について明らかにされていないことが多い。神経科学において精神疾患の動物モデル研究が、病気の解明や治療の開発のためにどのように役立っているかを、お話しします。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 山田一夫 人間系】 [覚えておきたい記憶と忘れた記憶] あなたはすべての経験を覚えておきたいですか? ヒトは覚えておくべき記憶と忘れてもいい記憶を区別していますが、動物も同じような記憶機能を持っています。ここではラットを用いた記憶・忘却研究について紹介します。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日 C. Pavlides 人間系】 [Brain mechanisms of spatial navigation] Based on the discovery of 'place cells' by O'keefe and Dostrovsky (1973) the hippocampus has been hypothesized to function as a spatial or cognitive map. Besides place cells, a number of other components of the navigational system have been discovered, including grid cells, head direction cells, etc. Based on these discoveries John O'Keefe, May-Britt Moser and Edvard Moser, got the Nobel prize in Physiology or Medicine in 2014. The class will go over the spatial navigation system in the brain including a description of the anatomy, physiology and how the different components fit together to tell us how to navigate in different environments.</p>		

第5回【5月20日 小早川達 産業技術総合研究所】

[味のニューロサイエンス]

イチゴ味やメロン味の違いは何でしょうか?お袋の味がわかりますか?鼻をつまめば、なぜ味がわからなくなるのでしょうか?こんな味覚と嗅覚に関わるニューロサイエンス研究を解説します。

第6回【5月27日 綾部早穂 人間系】

「においのニューロサイエンス」

においの好き嫌いは、どのように決まるのでしょうか?

香水のにおいだから「いいにおい」とは限りませんし、自分のペットの猫の肉球のにおいが大好きな人もいます。

においの好き嫌いに関わるニューロサイエンス研究を解説します。

第7回【6月3日 山田洋 医学医療系】

「ペプシが好き?コーラが好き?あなたの好き嫌いを決める脳の仕組み」

近年の研究で明らかになった、物の好き嫌いに基づく”価値判断”を行う脳の仕組みを、前頭葉を中心に紹介します。

第8回【6月10日 武田裕司 産業技術総合研究所】

[人間工学におけるニューロサイエンス]

人の認知や感情の状態を客観的に計測することは、より良い商品やサービスを開発する上で重要です。近年、商品やサービスの評価をニューロサイエンスの手法に基づいて行う「ニューロエルゴノミクス」が注目されています。脳波計測を用いたニューロエルゴノミクスの研究事例について紹介します。

第9回【6月17日 加藤克紀 人間系】

[初期社会環境と脳・行動の発達]

私たち人間の社会においては、親子や友人などの人間関係が大きな影響をもっています。特に幼少期の人間関係、すなわち初期社会環境は、性格形成や行動発達との関係で長年注目されてきました。この講義では、そうした初期社会環境と脳・行動の発達との関係をご紹介します。

第10回【6月24日 坂口昌徳 国際統合睡眠医科学研究機構】

[ねむりと記憶]

試験前に徹夜で勉強するか、ぐっすり寝て体調を整えるかを悩んだ経験はありますか?最新の脳科学の知見から、脳の中で毎日産まれてくる「新生ニューロン」という細胞群が、睡眠中に記憶を固定化することが明らかになってきました。睡眠がどのように記憶を制御するかをすることで、より良い学生生活を過ごせるようになるかも知れません。

第11回【7月1日 高橋阿貴 人間系】

[学期末試験]

履修条件	特になし
成績評価方法	積極的な授業参加と、学期末試験により総合的に評価します。
授業外における学習方法	各講義において適宜紹介します。
教材・参考文献	各講義で使用する資料については、事前に manaba で配付します。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは特に設けていません。まずはメールで連絡をしてください。akitakahashi@kansei.tsukuba.ac.jp 高橋 阿貴
履修者へのメッセージ	人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻において行動科学分野および神経科学分野を担当する教員によるオムニバス授業です。ぜひ今後の進路決定の参考にしてください。

授業科目名	障害科学から見た社会 インクルーシブ社会の一員としての「自分」		
科目番号	1F08011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 金 4
担当教員	岡 典子, 山中 克夫, 名川 勝, 竹田 一則, 野呂 文行, 柘植 雅義, 八重田 淳, 米田 宏樹		
授業概要	「人間が社会的に自立するとはどういうことか」、「社会に参加し、自己実現を図るとはどのようなことなのか」について、障害のある人への教育的・福祉的支援や、障害のある人と社会との関係を学ぶことをとおして、受講生に考えてもらう。さらに、誰もが社会参加し自己実現を図ることのできるインクルーシブ社会の実現のために、受講生各人が社会の構成員として自分にできることを、自分の学士力に照らして考える機会を提供する。		
備考	(障害開設) 障害科学類生の受講は認めない。また、総合科目 II「障害とともに生きる III」及び人間学群コア科目「障害科学 II」を履修済みの者の受講も認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	F		
水準・区分			
教育目的	それぞれの学類における学びを積み重ね、社会との接点により身近になった高年次学生に、障害のある人への教育的・福祉的支援や、障害のある人と社会との関係を知ってもらい、「誰もが社会参加し自己実現を図ることのできるインクルーシブ社会」の実現のために、自らの学士力でできることを考える機会を提供する。		
到達目標	1 知識:障害のある人の教育的福祉的支援を知り、これからの共生社会の基本である「合理的な配慮」の在り方を、受講生各々の専門に照らして考えることができる。 2 意欲・態度:「共生社会」実現のために、社会の一員として自らができうる事柄について、積極的に関わろうとする意欲や態度を示すことができる。		
キーワード	インクルージョン, 障害のある人, 合理的配慮, 社会参加, 自己実現, 社会的自立		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 12 日】 「障害科学から見た社会」 本授業の意図、進め方、受講生に期待すること、授業時間外の学習、評価方法等、受講に際しての必要事項を説明する。その後、本授業全体の基本的な理解に資するため、「障害科学」の立場から社会を見るとはどのようなことかについて、概説する。</p> <hr/> <p>担当:岡 典子 第 2 回【4 月 19 日】 「インクルーシブ社会と障害」 インクルーシブ社会とは何かについて、これまでの社会と障害の関係史、さらに障害者の権利条約や合理的配慮についての理解をふまえて考える。</p> <hr/> <p>担当:岡 典子 第 3 回【4 月 26 日】 「出生前診断の進歩と障害」 障害や疾病を児が生まれる前に知る、出生前診断の技術は近年急速に進歩、普及しつつある。しかし、その実施には多くの倫理的な問題が存在し、社会的なコンセンサスを得るには解決しなければならないことが多い。医療技術の進歩と生命倫理は相反するものなのか。この問題を通してあらためて障害の意味を考える。</p> <hr/> <p>担当:竹田 一則 第 4 回【5 月 10 日】 「インクルーシブ社会と教育-知的障害のある人を中心に-」 知的障害のある人と社会との関係を特に教育を中心に概観し、インクルーシブ社会における教育の課題について考察する。</p> <hr/> <p>担当:米田 宏樹 第 5 回【5 月 17 日】 「「自閉」は越えられるか?」 自閉症の人たちのもつ障害とは何か、それを克服するためにはどのような課題が存在するのかを解説する。</p> <hr/> <p>担当:野呂 文行 第 6 回【5 月 24 日】 「障害のマジョリティーとしての「認知症」にどう取り組むか」 わが国は、2025 年には「認知症」のある人は 700 万人まで増加すると推計されている。今や認知症のことを語らずして、障害科学を語ることはできない。認知症の治療、対応、予防、そして認知症の人に対する社会的態度。それらを通じ、社会全体で、障害、老化、健康とどう取り組んでいったらよいのか議論したい。</p> <hr/> <p>担当:山中 克夫</p>		

	<p>第7回【5月31日】 「障害者の権利擁護と意思決定支援」 障害者の権利擁護と意思決定支援について講述する。障害のある人がとりわけ地域社会で生活を行うためには、権利擁護システムを構築することが重要である。これについて社会福祉法ほかに定められる権利擁護制度を概観した後、成年後見制度や意思決定支援の現状と課題について説明する。</p> <hr/> <p>担当:名川 勝</p> <p>第8回【6月7日】 「元気になる職業リハビリテーション」 日本の職業リハビリテーション(障害者就労支援)の現状と課題、障害をもちながら働くことの意味、生き甲斐、労働の質について概説する。また米国を中心とした最新職業リハビリテーション事情について紹介する。</p> <hr/> <p>担当:八重田 淳</p> <p>第9回【6月14日】 「才能と発達障害-自分の中の発達障害、相手の中の発達障害-」 卓越した才能の出現と種々の発達障害の出現の関係性。親和性について理解した後、自分や相手に見られる様々な才能や発達障害に見られる特性について具体的に見つめ直し、誰もが力を発揮して豊かに暮らせるインクルーシブ社会について考察する。</p> <hr/> <p>担当:柘植 雅義</p> <p>第10回【6月21日】 「インクルーシブ社会の成員として自分にできること」 講義のまとめと討論を実施する。</p> <hr/> <p>担当:岡 典子</p> <p>第11回【6月28日】 期末試験 担当:岡 典子</p>
履修条件	障害科学類生の受講は認めない。また、総合科目Ⅱ「障害とともに生きるⅢ」及び人間学群コア科目「障害科学Ⅱ」を履修済みの者の受講も認めない。
成績評価方法	期末試験 60点、授業内での課題・ショートレポート 40点により総合的に評価する。
授業外における学習方法	授業配布資料と紹介文献の精読、受講者同士あるいは受講者以外との討論で問題意識を深めること。
教材・参考文献	授業時に適宜紹介する。
オフィスアワー・連絡先	授業担当教員は全員人間系の所属である。 各回の担当者の連絡先はオーガナイザー岡に問い合わせること。 岡 典子 火曜日 13:00~14:00 人間系学系 B 棟 B234
履修者へのメッセージ	大学での自らの学びを振り返り、卒業までの学びを見直し、社会の一員としての自らの在り方を考えてもらう機会として、是非活用してください。

授業科目名	都市・地域・環境を探る III		
科目番号	1F17021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 C 火 1,2
担当教員	雨宮 護, 大澤 義明, 藤井 さやか		
授業概要	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。本科目では、総合科目「都市・地域・環境を探る I,II」の発展形として、都市計画やまちづくりの実践事例を手掛かりに、社会の構成員である私たちが都市・地域・環境にどのように関わっていくべきかを考える。		
備考	(社工開設)平成 26 年度以前に総合科目 II「1C17121 都市・地域・環境を探る III」の単位を修得した学生は履修不可。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	F		
水準・区分			
教育目的	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。都市・地域・環境を探る III では、都市計画やまちづくりの実践事例を手がかりに、社会の構成員である私たちが都市・地域・環境にどのように関わっていくべきかを考える。		
到達目標	A) 身近な都市・地域・環境の問題を発見できる B) 発見した問題について、その原因や影響を分析し、説明できる C) 問題を解決するため、自分が果たすべき役割とキャリア形成について考える		
キーワード	都市, 地域, 環境, まちづくり, つくば, 茨城県		
各回授業計画	<p>第 1 回【7 月 9 日 (火)1 限 関正樹 関彰商事】 「地元企業によるまちづくり」 研究学園都市の生活を支えてきた地元企業によるまちづくりへの貢献について紹介する。</p> <hr/> <p>第 2 回【7 月 9 日 (火)2 限 中田泰行 東急電鉄】(調整中) 「公共交通とまちづくり」 地域の足となる鉄道会社とまちづくりについて紹介する。</p> <hr/> <p>第 3 回【7 月 16 日 (火)1 限 齊藤啓輔 余市町長】(調整中) 「地方の挑戦」 北海道の自治体による地方創生の取り組みとまちづくりについて紹介する。</p> <hr/> <p>第 4 回【7 月 16 日 (火)2 限 矢野俊介 日本人材機構】 「就職・転職と社会の最適化」 高度成長期から現代までの時代ごとに必要とされてきた就職・転職サービスを紹介し、次の時代で求められる年齢・地域も含めた職の選択について考える。</p> <hr/> <p>第 5 回【7 月 23 日 (火)1 限 火箱芳文 第 32 代陸上幕僚長・現三菱重工顧問】 「東日本大震災と自衛隊による復旧復興支援活動」 東日本大震災の際に自衛隊が実際に行った復旧支援活動についての現状を現場の声を交えて紹介する。</p> <hr/> <p>第 6 回【7 月 23 日 (火)2 限 土屋智子 NPO 法人 HSE リスク・シーキューブ】 「リスクコミュニケーションの現場から～役割と限界～」 リスクコミュニケーションの概念を説明するとともに、茨城県東海村で発生した臨界事故以来関与してきた東海村のリスクコミュニケーション活動や福島県内の活動事例を紹介し、社会問題解決のプロセスにおけるリスクコミュニケーションの役割とその限界を示す。</p> <hr/> <p>第 7 回【7 月 30 日 (火)1 限 木内敏之 木内酒造 (資)】(調整中) 「食による茨城再生 1:茨城県の食資源」 江戸時代から続く老舗酒造からみた茨城県の食資源の魅力について紹介する。</p> <hr/> <p>第 8 回【7 月 30 日 (火)2 限 木内敏之 木内酒造 (資)】(調整中) 「食による茨城再生 2:世界への発信」 江戸時代から続く老舗酒造の業種拡大・海外展開への挑戦と、今後の展望について紹介する。</p>		

	<p>第9回【8月6日(火)1限 野仲賢勝 株式会社電通スポーツ局】 「Jリーグクラブチームによる地域貢献 1:Jリーグによる取組み」 Jリーグによる地域貢献について、その考え方や具体的内容を紹介する。</p> <hr/> <p>第10回【8月6日(火)2限 野仲賢勝 株式会社電通スポーツ局】 「Jリーグクラブチームによる地域貢献 2:チームの取組み」 Jリーグクラブチームによる地域貢献について、その考え方や具体的内容を紹介する。 期末試験は実施しない</p>
履修条件	「都市・地域・環境を探る I」とあわせて履修することで、より総合的な理解が得られる。平成26年度以前に「都市・地域・環境を探る III」を履修したものの履修は不可。
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60%以上の出席が必須(遅刻は減点対象となる)</li> <li>・授業内課題及び授業態度・・・講義内容の理解度及び積極的な参加姿勢(60%)</li> <li>・課題(レポート)・・・問題発見と解決策の独創性、説明力、表現力、プレゼンテーション力(40%)</li> </ul>
授業外における学習方法	講義中で紹介する文献・資料を読み、いろいろなまちを実際に歩いて観察する。
教材・参考文献	講義の中で、適宜指定する。
オフィスアワー・連絡先	メールで事前に連絡すること。 藤井 さやか メールでアポイントをとってください fujii at sk.tsukuba.ac.jp 各回講師の連絡先は、講義中に案内する。
履修者へのメッセージ	身近な都市・地域・環境に興味関心を持ち、また自分の将来のキャリア形成と関連付けながら講義に取り組んでほしい。



授業科目名	記録遺産学		
科目番号	1F20011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 C 月 1,2
担当教員	白井 哲哉, 辻 泰明, パールィシェフ エドワルド, 江前 敏晴, 田中 友香理, 石田 大平		
授業概要	文化財や文化的な資料を対象に、どのように記録を作成し、学術資料として管理していくかを解説する。記録された文化財(主として文字資料・映像資料)を取り上げ、アーカイブズ学・博物館学の視点から、古文書を含む歴史的公文書等・記録映像・文化遺産的資料(石碑・拓本・竹簡・木簡等)を取り上げ、ドキュメンテーション(記録管理)の方法論を学ぶ。		
備考	(知識開設)【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	科目群 F		
水準・区分			
教育目的	物理的な文化財や情動的なデジタル文化財が混在する今日であるが、知識を後世に伝えるのは、文字であり、映像であり、記録である。ここでは、記録とは何か、記録遺産とは何かを多くの事例を通して自ら考え、文化的な資料を後世に遺産として残していくことを考える。		
到達目標	記録された文化財(主として文字資料・映像資料)を通して、知識情報学、アーカイブズ学、博物館学の視点から、歴史的公文書等・記録映像・文化遺産的資料(石碑・拓本・竹簡・木簡等)の重要性を認識し、自ら遺産価値を見出す視点を養う。		
キーワード	記録遺産, 歴史的公文書等, 記録映像, 文化遺産的資料, ドキュメンテーション, アーカイブ, 博物館学, 記録管理		
各回授業計画	<p>オムニバス形式の講義である。</p> <p>第 1 回【7 月 8 日(月) 1 限 白井哲哉 図書館情報メディア系】 [記録遺産とは何か]</p> <hr/> <p>第 2 回【7 月 8 日(月) 2 限 辻 泰明 図書館情報メディア系】 [記録遺産としての映像資料]</p> <hr/> <p>第 3 回【7 月 19 日(金)1 限 非常勤講師】 [マイクロフィルム記録保存とデジタル化]</p> <hr/> <p>第 4 回【7 月 19 日(金)2 限 非常勤講師】 [マイクロフィルム記録保存とデジタル化]</p> <hr/> <p>第 5 回【7 月 22 日(月)1 限 江前敏晴 生命環境系】 [紙の保存科学]</p> <hr/> <p>第 6 回【7 月 22 日(月)2 限 江前敏晴 生命環境系】 [紙の保存科学]</p> <hr/> <p>第 7 回【7 月 29 日(月)1 限 田中 人文社会系】 [日本における記録遺産とアーカイブズ]</p> <hr/> <p>第 8 回【7 月 29 日(月)2 限 エドワルド・パールィシェフ 図書館情報メディア系】 [ヨーロッパにおける記録遺産とアーカイブズ]</p> <hr/> <p>第 9 回【8 月 5 日(月)1 限 白井哲哉 図書館情報メディア系】 [大災害と記録遺産]</p> <hr/> <p>第 10 回【8 月 5 日(月)2 限 白井哲哉 図書館情報メディア系】 [「記録遺産」という問いの可能性] 各回の出席票の裏面には、必ず授業内課題への回答その他のコメントを書くこと。何も書かれていない場合、評価外にする場合がある。</p>		
履修条件	なし		
成績評価方法	各回の提出物(授業内課題に関するものなど)及び小レポート		
授業外における学習方法	適宜、授業内容に応じた小レポートを課す。		
教材・参考文献	特になし。		
オフィスアワー・連絡先	白井 哲哉 水 2 限 7D407 tetsushi at slis.tsukuba.ac.jp		
履修者へのメッセージ	記憶と記録、映像記録、ドキュメンテーション等、多くのモノをみてください。		

授業科目名	デジタルクリエイティブ基礎		
科目番号	1F20024	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 C 水 5,6
担当教員	近藤 祐爾		
授業概要	<p>デジタルコンテンツ制作に必要なとされる基礎技術を学びます。普段何気なく目にしている Web、広告、ポスター、カタログ、雑誌・書籍、TVCM、映画、製品パッケージ、工業製品からプレゼンテーションに至るまで、さまざまなビジュアル表現が使われています。Instagram や Twitter などの SNS への画像アップロード、LINE スタンプの利用、YouTube 動画のアップロードなど、日常生活においてビジュアル表現を活用する場面も増えています。Instagram 向けの画像加工アプリでは一体どんな風に画像が加工されているのか、LINE スタンプはどのように作られているのか、YouTube 向けに動画コンテンツを制作したいときどんなことを知っておくとよいのか、デジタルコンテンツにおいてビジュアル表現を活用するには、クリエイティブ技術の理解が必要になります。現在、ビジュアル表現に関わる制作の大半はデジタル化されているので、デジタルクリエイティブ技術の基礎を理解することで、よりよいビジュアル表現のための知識が習得できます。</p>		
備考	(情報学群開設)【受入上限数 60 名】/ 毎回 7A106 に集合 TWINS に履修申請済みの初回授業出席者からくじ引きによって受講調整を行います。/ テクニカルコミュニケーター (TC) 専門課程「デザイン・表現設計」分野の科目。		
授業形態	講義及び演習		
科目群	F 物質、数理、生命、環境と、精神、文化、社会、歴史の両方にまたがる総合科目		
水準・区分	コンピテンス 1(コミュニケーション能力)、3(データ・情報リテラシー)		
教育目的	プレゼンテーション、各種デザインから写真・動画投稿にいたるまで、デジタルコンテンツのビジュアル表現に必要なとされる基礎技術を理解し、実際に活用できるようにします。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジュアル表現を構成する要素がどのようなものであるかを理解します。</li> <li>・写真表現、文字表現、カラーリング(色指定)、レイアウト技法などの各構成要素で使用されるデジタルクリエイティブ技術を理解します。</li> <li>・画像編集、LINE スタンプの制作、映像コンテンツの制作などを体験し、ビジュアル表現の活用方法を体感します。</li> </ul>		
キーワード	ビジュアル表現、プレゼンテーション、グラフィックデザイン、Web デザイン、DTP(デスクトップパブリッシング)、タイポグラフィー、画像処理、アニメーション、映像編集		
各回授業計画	<p>講師:近藤 祐爾 インストラクター:名久井舞子</p> <p>第 1 回 [ ビジュアル表現 ] 【 7 月 10 日 近藤 祐爾 】 ビジュアル表現を構成する要素を俯瞰します。写真表現、文字表現、カラーリング、レイアウト技法、導線設計、インタラクションなどの構成要素を支える技術の役割を解します。</p> <hr/> <p>第 2 回 [ ビジュアル表現 (演習) ] 【 7 月 10 日 近藤 祐爾 】 ビジュアル表現の全体構成について、各構成要素がどのように機能するのかを学びます。</p> <hr/> <p>第 3 回 [ 画像処理 ] 【 7 月 17 日 近藤 祐爾 】 現在のビジュアル表現で多用される写真表現、画像処理について学びます。画像形式ごとの特性や画像処理の仕組みについて理解します。</p> <hr/> <p>第 4 回 [ 画像処理 (演習) ] 【 7 月 17 日 近藤 祐爾 】 画像処理の基礎として、色調補正、画像加工、切り抜きなどの画像編集を学びます。</p> <hr/> <p>第 5 回 [ カラーリング ] 【 7 月 24 日 近藤 祐爾 】 デジタル技術としてカラー情報の取り扱いについて学びます。メディアごとの色の扱い方の違い、特性、カラーリング(色指定)の考え方について理解します。</p> <hr/> <p>第 6 回 [ カラーリング (演習) ] 【 7 月 24 日 近藤 祐爾 】 デジタル技術としてカラー情報を扱うために必要な RGB などのカラーモデル、カラー指定、カラー変換、配色技法などを学びます。</p> <hr/> <p>第 7 回 [ タイポグラフィーとレイアウト ] 【 7 月 31 日 近藤 祐爾 】 ビジュアルな文字表現としてのタイポグラフィーと、DTP (デスクトップパブリッシング) や Web におけるレイアウト技法について理解します。</p> <hr/> <p>第 8 回 [ タイポグラフィーとレイアウト (演習) ] 【 7 月 31 日 近藤 祐爾 】 文字表現の視覚的影響を理解するため、書体 (フォント) の選択、サイズや字間・行間の調整、文字と画像の配置方法などを学びます。</p>		

	<p>第9回 [映像制作] 【8月7日 近藤 祐爾】 映像コンテンツを支えるデジタル技術の基礎について学びます。映像編集の基本的な考え方、特殊効果、アニメーションや映像を扱う際に重要となるエンコード技術について理解します。</p> <hr/> <p>第10回 [映像制作(演習)] 【8月7日 近藤 祐爾】 撮影された映像や静止画を用いて、基本的なカット編集と静止画と文字によるモーショングラフィック・アニメーションなどを学びます。</p> <hr/> <p>第11回 予備</p>
履修条件	<p>広告・宣伝、Web サイト、モバイルアプリ、TV ゲーム、雑誌・書籍、製品パッケージ、工業デザイン、建築設計、CM、TV 番組、映画・アニメ、プレゼンテーションなどのビジュアル制作に興味関心があり、実際に手を動かして手法をマスターする意欲があること</p>
成績評価方法	<p>演習課題ならびに制作物によって評価します。欠席者に対する特別な配慮はしません。</p>
授業外における学習方法	<p>授業で習ったことを念頭に、優れたビジュアル表現、デザイン成果物をできるだけ多く鑑賞してください。 関連する文献、Web サイトのチュートリアル、オンラインヘルプなどを活用して、より発展的な内容に挑戦してみてください。</p>
教材・参考文献	<p>資料をオンラインで配布します。 参考文献: 築城厚三、Illustrator CC 試験対策、オデッセイ コミュニケーションズ、2017、ISBN 978-4-908327-06-3 築城厚三、Photoshop CC 試験対策、オデッセイ コミュニケーションズ、2017、ISBN 978-4-908327-05-6 その他の参考文献は講義で紹介します。</p>
オフィスアワー・連絡先	<p>世話人: 歳森 敦 (図書館情報メディア系) <a href="mailto:tosimori@slis.tsukuba.ac.jp">tosimori@slis.tsukuba.ac.jp</a></p>
履修者へのメッセージ	

授業科目名	健康と社会		
科目番号	1F22011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 A 月 5,6
担当教員	柴山 大賀, 竹熊カツマタ 麻子, 阿部 吉樹, 伊藤 智子, 萩野谷 浩美		
授業概要	現代の少子高齢化の社会構造やストレス社会において、人々に様々な健康影響が生じている。いくつかの健康問題を題材に、社会的要因と健康との関連性について考えることをとおして、働き方や生活の仕方を見直す機会とし、今後の社会や自身のあり方を探る。		
備考	(看護開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	F		
水準・区分			
教育目的	少子高齢社会を含めた社会構造の変化は、生活習慣病や精神的不調者の増加など、人々の健康にさまざまな影響を与えている。また、ストレス社会の中で、国民一人一人が働き方や生活の仕方を見直す必要がある。今回は、糖尿病の管理、ストレス対処、健康診断、高齢者ケア、在宅ケアにスポットをあて、社会の歴史的変遷と施策を振り返りながら、いかに社会的要因が健康に影響するのかについて、考察を深める。		
到達目標	1. 今日の社会的関心の高い健康問題について、歴史的な変遷や社会的施策から考察することができる。 2. 健康問題の解決に向けて必要な専門的知識や技術について説明することができる。 3. 健康を向上させていくために必要な介入アプローチを提案することができる。		
キーワード	健康, 社会, ケア, 介入アプローチ		
各回授業計画	<p>現代の少子高齢化の社会構造やストレス社会において、人々に様々な健康影響が生じている。今回は、糖尿病の管理、ストレス対処、健康診断、高齢者ケア、在宅ケアを取り上げ、その介入アプローチや疾病予防のための健康づくり、さらにはセルフケアという視点での考察を通じ、働き方や生活の仕方を見直す機会とし、今後の社会や自身のあり方を探る。</p> <hr/> <p>第 1 回【4 月 15 日 柴山大賀 医学医療系】 [社会構造の変化と糖尿病] 代表的な慢性疾患である糖尿病の成り立ちとその管理方法について理解を深める。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 15 日 柴山大賀 医学医療系】 [糖尿病を社会全体で管理するための仕組みづくり] 糖尿病の管理に Chronic care model を適用することを例に、海外での実践例をふまえて糖尿病を管理するうえで実現可能性の高い社会システムについて考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【4 月 22 日 萩野谷浩美 医学医療系】 [ストレス社会における生活者としてのセルフケア (1)] 社会構造の変化が生活者におよぼす影響について概観し、生活過程を整えることの必要性について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 4 回【4 月 22 日 萩野谷浩美 医学医療系】 [ストレス社会における生活者としてのセルフケア (2)] 学生自身の生活のあり方を考察し、生活過程を整えていくために必要な要件と具体的方法について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 9 日 (振替授業日) 阿部吉樹 医学医療系】 [健康診断の社会的意義] 健康診断が果たしてきた役割と、現在の考え方について概説する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 9 日 (振替授業日) 阿部吉樹 医学医療系】 [健康診断の活用方法] 健康管理のために、さまざまに整備された健康診断をどう活用するか、受診後にどのような行動をとることが望まれるかを考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【5 月 13 日 竹熊カツマタ麻子 医学医療系】 [高齢者ケア (米国を例に)1] 前期高齢期、後期高齢期を生きるということや社会のなかで高齢者の人たちがどのように受け止められているか、また主体的に生きているかということなどを知り、高齢者と社会とのかわりについて考察する。</p>		

	<p>第8回【5月13日 竹熊カツマタ麻子 医学医療系】 [高齢者ケア(米国を例に)2] 高齢者のケアをめぐる課題、医療制度、医療保険制度改革、人種、宗教、文化、ジェンダーなどの要素も含めながら高齢期を生きるということを考察する。</p> <hr/> <p>第9回【5月20日 伊藤智子 医学医療系】 [在宅で死ぬこと] 多死化社会を迎える中で、在宅で死ぬことの方策やリスク、制度背景を学ぶ。</p> <hr/> <p>第10回【5月20日 伊藤智子 医学医療系】 [在宅で介護者になること] 在宅で家族を介護する場面で必要な知識や技術、そしてそれをサポートする制度を学ぶ。</p> <hr/> <p>課題レポートは、以下の5つのテーマから2つを選択する。          テーマ1. 糖尿病を地域で支えるには          テーマ2. ストレス社会における生活者としてのセルフケア          テーマ3. 健康診断のこれからの活用方法          テーマ4. よりよい高齢者ケアにむけて          テーマ5. 在宅で生きること 病気になり老いて死ぬこと          選んだテーマのそれぞれについてさらに自身で深掘りし、到達目標1~3に対応する内容(考察、説明、提案)のすべてをレポートにまとめる。          表紙はつけず、選択したテーマをテーマ番号とともに1行目に示し、学籍番号と名前を2行目につけ、本文を4行目から記載する。1つの課題につき、字数は2,000字以上とする。          必ず、文献をつける(文献は字数に含まない)。          提出方法:          課題レポートのファイルをWordで作成しmanaba上で提出する。          テーマごとに提出ファイルを分ける。          提出ファイル名は「健康と社会:課題レポート1:テーマ番号:学籍番号」「健康と社会:課題レポート2:テーマ番号:学籍番号」とする。          提出期日:課題レポート1と課題レポート2ともに2019年6月18日(火)0:00(=17日まで)</p>
履修条件	なし
成績評価方法	課題レポート1(50%)、課題レポート2(50%) 講義の2/3以上出席し、課題レポート1と2をあわせて60点以上の得点をおさめることによって単位を認定する。
授業外における学習方法	自ら進んで関心のあるテーマに関する文献や資料を読む。
教材・参考文献	講義で適宜紹介
オフィスアワー・連絡先	柴山 大賀 taiga at md.tsukuba.ac.jp 応談。
履修者へのメッセージ	講義後に、健康と社会のつながりを、さらに深掘りしてみてください。

授業科目名	スポーツジャーナリズム		
科目番号	1F24011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 AB 月 6
担当教員	嵯峨 寿, 福原 直樹		
授業概要	スポーツの普及・発展に多大な影響をおよぼす「スポーツジャーナリズム(放送、新聞、出版など)」について、それが用いる表現、手法、取材、編集などを切り口に、海外や過去の事例との比較による分析と考察を通じ、わが国のスポーツジャーナリズムの現状と喫緊の課題を浮き彫りにし、これからの望ましいあり方を探る。		
備考	(体育専門学群開設)【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	F		
水準・区分			
教育目的	<p>スポーツジャーナリズムが大きく変わろうとしている。スポーツを巡る環境が複雑になり、その守備範囲が大きく広がったからだ。いまやそれはスポーツを賛美し、選手たちの活躍や実績を記録するだけだった旧来の役割に加え、進化・複雑化する各競技のルールやトレーニング方法、ドーピングやパワハラなどの社会問題、五輪招致・開催に関わる様々な政治・経済問題…… など、様々な分野にまたがるようになった。</p> <p>このような中、スポーツジャーナリストには、どのような姿勢が求められているだろうか。ジャーナリズムの批判精神に固執するあまり、問題点だけを暴き続ければスポーツの本来の素晴らしさを伝えることができなくなってしまう。だがこの一方で、過剰なスポーツ賛美や直情型のスポーツ報道を続けられれば、社会正義を旨とするジャーナリズムの精神に反することになる。2020 東京オリンピック、パラリンピックが我が国のスポーツジャーナリズムにとって飛躍のチャンスであることは間違いない。これまでのスポーツジャーナリズムを分析するとともに、現在、それが乗り越えなければならない壁とは何か、どう克服できるかを合わせて考えたい。</p>		
到達目標	<p>1 スポーツジャーナリズムの現状について理解を進め、その問題点を口頭/文章で明確に指摘・批判できるようになる。</p> <p>2 スポーツジャーナリズムの改革に向けたアイデアについて意見を述べ、それを明確に記述できるようになる。</p> <p>3 2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催・運営(方法)について明確な意見を持ち、それを叙述できるようになる。</p>		
キーワード	スポーツ, ジャーナリズム, 2020 年東京オリンピック・パラリンピック		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 7 日 福原直 樹 国際日本専攻・嵯峨 寿 体育系】 [オリエンテーション] 授業開設の動機と意図、各回講義の特徴と担当講師の紹介、成績評価の観点と基準、受講に当たっての約束ごとなどを説明し、授業に臨むに当たっての双方の姿勢・意欲を確認する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 18 日 福原 直樹 国際日本専攻】 [オリンピックスキャンダル] 90 年代後半、国際五輪委員会による開催都市選定の不祥事が起き、世界を震撼させた。これを取り材した講師が当時の体験を振り返り、スポーツジャーナリズムが今、直面する課題を分析する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 21 日 嵯峨 寿 体育系】 [ラグビーワールドカップとジャーナリズム] 1995 ラグビー W 杯南ア大会で、アパルトヘイトの象徴とされた南ア代表チームを黒人たちが応援するまでになった様子を描いた映画「インパクト」の原作 Playing the Enemy(2008) を取り上げる。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 28 日 福原 直樹 国際日本専攻】 [スポーツ報道 新たな地平] スポーツ関連の著作も多いピューリッツァー賞ジャーナリスト、デービッド・ハルバースタムの代表作を例に、スポーツジャーナリズムの新たな可能性を展望する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 6 日 調整中】 [競技団体の広報戦略] 2020 を控え、日本の各スポーツ組織はどのような広報戦略を持ち、それをいかに市民にアピールしようとしているのか。実際の広報担当者をゲストに迎え解説してもらおう。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 18 日 中西 祐介 写真家】 [スポーツ写真家 その苦悩と葛藤] 2020 を控え、日本の各スポーツ組織はどのような広報戦略を持ち、それをいかに市民にアピールしようとしているのか。実際の広報担当者をゲストに迎え解説してもらおう。</p>		

	<p>第7回【11月25日 岡田 弘隆 体育系】 [スポーツ報道における解説] スポーツ放送の解説者は自身に期待されている役割をどうとらえ、いかにして予想のつかない事態に備え、対処しているのだろうか。柔道解説の経験豊富な講師が、解説のあり方について解説する。</p> <hr/> <p>第8回【12月2日 ゲスト】 [競技者からみたスポーツ報道] 世界各地を転戦、表彰台に上がることも多いアスリートをゲストに迎え、スポーツジャーナリズムの国際比較と日本の問題点を自身の見聞や経験を踏まえ存分に語っていただく。</p> <hr/> <p>第9回【12月9日 佐藤 耕二 テレビ朝日スポーツ報道局長】 [スポーツのテレビ報道] テレビのスポーツ放送はデジタル技術の革新、インターネットの普及によってどのような影響・恩恵を受けているのか。ここ30年の動向と変化を振り返り、2020年に向けた新たな試みを開陳する。</p> <hr/> <p>第10回【12月16日 河野 俊史 スポーツニッポン社長】 [スポーツ紙の2020] スポーツに限らず芸能からギャンブル、風俗をも扱う日本のスポーツ新聞。彼らのスポーツ報道の特徴は何か、2020東京をいかなる革新の機会として位置づけているのかをトップ自らが語る。</p> <hr/> <p>第11回【12月23日 福原 直樹 国際日本専攻・嵯峨 寿 体育系】 [期末試験] 期末試験を行う。</p>
履修条件	特になし
成績評価方法	出席票裏面に毎回書くリアクションペーパー (50%)、期末試験 (50%) により総合評価する。
授業外における学習方法	特に定めないが、一般紙の精読、テレビニュースの視聴を継続することを勧める。
教材・参考文献	授業の際に適宜紹介・指定する。
オフィスアワー・連絡先	嵯峨 寿 <a href="mailto:saga.hitoshi.fu@u.tsukuba.ac.jp">saga.hitoshi.fu@u.tsukuba.ac.jp</a>
履修者へのメッセージ	上述の授業の目的/方針は堅持するが、授業の具体的内容、担当者、順番などは変更する場合があります。

授業科目名	スポーツと平和・非暴力		
科目番号	1F24212	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	河合 季信		
授業概要	<p>スポーツは、言葉や人種、宗教などを超えて人々が交流できるという機能を持つ一方で、実践の現場では、選手間、指導者と選手との間、選手と社会との間などで、依然として様々な暴力やイジメ、ハラスメントなどが存在する。本科目では、種々の場面で発生する意見の相違や対立状態に対して建設的に対処する方法や、その前提となる自身や他者を尊重することの意義を演習を通して学び、前述した課題の解決法を探る。また、それらとオリンピックの価値（「Excellence」「Respect」「Friendship」）や平和との関連について理解を深める。</p>		
備考	(体育開設)【受入上限数 120 名】		
授業形態	演習		
科目群	F		
水準・区分			
教育目的	<p>スポーツは、言葉や人種、宗教などを超えて人々が交流できるという機能を持つといわれる一方で、スポーツ場面において、選手間、指導者と選手との間、選手と社会との間などで、依然として様々な暴力やイジメ、ハラスメントなどが存在し、スポーツのインテグリティを脅かす大きな要因となっている。スポーツに関わる者が、自分自身と他者の人格を尊重する態度や、暴力やイジメの原因となるコンフリクトの特性とその対処法を学ぶことで、そうした状況を改善できると考えられる。本プログラムは、スポーツを通じた平和教育を世界各地で実施している Non-Violence Project 平和教育プログラム「Sports for Peace」を活用して、指導者としてさまざまな暴力の根絶につながる具体的な対処法を身につける。</p>		
到達目標	<p>スポーツにおけるイジメ、暴力の根絶に向けて、その背景となる自身と他者の人格を尊重する態度、コンフリクトの特性とその対処法を学ぶ。</p>		
キーワード	平和教育, 非暴力, セルフ・エスティーム, コンフリクト・マネジメント		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 15 日】 イントロダクション:授業の目的、進め方について説明する。 「良い友人になろう」:良いアスリート、よいチームメンバーになるとはどういうことかについて理解する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 22 日】 「コンフリクトを見きわめよう」:コンフリクトとはどういうものが、ネガティブな面とポジティブな面について理解する。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日】 『「コンフリクト・ズー」に行ってみよう』:コンフリクト状況における行動スタイルについて理解し、自身の行動スタイルが状況によって変化することに気づく。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 13 日】 「セルフ・エスティームをはぐくもう」:セルフ・エスティームの重要性について学び、セルフ・コンフィデンスとの違いを理解する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 20 日】 「自分の感情とニーズを解き明かそう」:感情とニーズ(欲求)について理解し、自身のニーズについて考える。また、それがスポーツとどのように関連するかについて考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 27 日】 「良い聴き手になろう」:コミュニケーションを活性化させるようリスニング・スキルについて学ぶ。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 3 日】 「ロールモデルになることを学ぼう」:ネルソン・マンデラなどスポーツなどを通して平和と非暴力に取り組んだロールモデルについて学ぶ。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 10 日】 「暴力に立ち向かおう」:スポーツの場面や社会で起こっている暴力について考え、それに対処する方法を考える。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 17 日】 「平和と非暴力のシンボルを考えよう」:これまでに学んだ平和と非暴力を具体的なシンボルとして表現してみる。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 24 日】 「平和に向けて行動を起こそう」:平和で非暴力的なスポーツ環境や社会を実現するために、自身で何ができるかを考える。</p>		



履修条件	各回の内容は相互に関連をもって段階的に発展するため、毎回必ず出席できること。また、毎回必ずアクティビティがあるので、主体的・積極的に参加すること。なお、アクティビティの中には、手をつなぐなどの軽い身体的接触があるものもあるので、あらかじめ了承しておくこと。
成績評価方法	アクティビティでの積極性、指導力などを元に、知識、意欲、態度などを総合的に評価する。
授業外における学習方法	各回のアクティビティ内容を事前に伝えるので、教材を使って事前に内容の確認をする。また、「ブックレット」を使って課題を実施する。
教材・参考文献	1. Non-Violence Foundation, 『Sports for Peace ピース・プログラム・イントロダクション レベル 1, 2, 3』 2. Non-Violence Foundation, 『Sports for Peace コーチ・マニュアル レベル 1』 3. Non-Violence Foundation, 『Sports for Peace アスリート・ブックレット レベル 1』
オフィスアワー・連絡先	特に設定しないので事前にメールで日程調整をしてください。 体育系 B 棟 3F B316 研究室 kawai.toshinobu.gp at u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	すべての回に出席し、アクティビティなどを通してプログラム内容の理解と実践力があると認められたものには、「NVP トレーナー」の資格を授与する。